

■ 1 はじめに

.....
 匝瑳市議会平成30年3月定例会が開会され、平成30年度当初予算案及び関係諸議案の御審議をお願いするに当たり、改めて3期目就任のごあいさつを申し上げ、併せて、新年度における市政運営方針の大要と私の所信を申し述べさせていただきます。

▶ 3期目の決意

このたびの匝瑳市長選挙におきましては、議員各位並びに多くの市民の皆様から力強い御支援を頂き、無投票での再選によりまして、引き続き、今後4年間の市政を担わせていただくことになりました。

3期目の市政運営に臨み、こうして所信を申し述べることが出来ますことは、誠に光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議員各位並びに市民の皆様には、これまでに増しての御支援、御協力をお願い申し上げる次第であります。

▶ 目指すは一つ上のまちづくり ～人口減少と少子化・超高齢化を乗り越えるために～

さて、私は、平成22年2月の市長就任以来、2期8年の間、魅力と活力ある「新生匝瑳」づくりを旗印に、「安心・安全のまちづくり」、「産業振興のまちづくり」、「市民参加のまちづくり」の3つを基本方針として、市政運営に取り組んでまいりました。3期目に臨むに当たりまして、この基本方針を貫き、匝瑳市の発展のために全力で市長職の責任を全うする決意であります。

我が国は、これまでに例のない人口減少と少子化・超高齢化の時代に向かおうとしています。この現状は、匝瑳市を取り巻く環境を一段と厳しいものにしてしていると認識しております。

これまでも、「市民参加のまちづくり」を基本方針の1つに掲げ、市民提案型事業に対する助成制度や新生匝瑳戦略会議等を創設し、市民の自立と共生、市民との協働による持続可能な市政運営を目指して取り組んでまいりました。

また、少子化対策といたしまして、中学校卒業までの子ども医療費の無料化、保育所・幼稚園保育料の減免、マザーズホームの拡充等の子育て支援を充実さ

せ、学校教育におきましては、小・中学校の校舎や体育館の建替整備、学校給食センターの統合整備等の教育環境の充実に取り組んでまいりました。

さらに、人口減少対策といたしまして、婚活イベント等の出会い創出事業、転入者マイホーム取得奨励金交付事業や空き家バンク事業等を創設し、匝瑳市への移住・定住を促す事業を展開してまいりました。

ただいま申し上げました取組は、一定の成果を上げ、市民の皆様の負託に応えることができたものと自己評価しています。

しかしながら、急速に進む人口減少に伴い、地域活力の低下、市税収入の減少等、懸案となっている課題に抜本的な対策を講じなければ、匝瑳市の将来が危惧されるところであります。

また、市民の健康と生命を守る市民病院の経営健全化と建替整備、生活インフラである広域ごみ処理施設の整備は、安心して安全な生活を望む市民の願いであり、喫緊の課題であります。

さらに、若い世代に「匝瑳市に住みたい」、「住んで良かった」、「住み続けたい」と思っただけの子育て支援対策の更なる充実や雇用の場の創出は、一段と加速させなければなりません。

このように、解決しなければならない課題が山積していることを認識する中で、改めて、まちづくりの主役は市民の皆様であり、市民のアイデアがまちを創るという理念のもと、持続可能な市政運営の確立、魅力と活力あふれるまちづくりこそが、私の進むべき道と決意を新たにいたしましたところであります。

これまで以上に困難な課題に立ち向かわなければならない3期目の市政運営におきましては、一つ上のまちづくりを目指し、「市民とともに創る 協働のまち 匝瑳」の実現に向け、冒頭で申し上げました3つの基本方針であります、

- 1 安心・安全のまちづくり
- 2 産業振興のまちづくり
- 3 市民参加のまちづくり

を「次世代の匝瑳につなぐ基本方針」とし、匝瑳市の発展のために、一意専心取り組んでまいります。

■ 2 財政状況と予算編成方針

次に、財政状況と予算編成方針について申し上げます。

一般会計における本市の財政状況は、市税や普通交付税等の経常一般財源の減少が続いておりますが、積極的な行政改革への取組によりまして、経常収支比率等の財政指標は堅実な状況にあります。

また、財政調整基金は、着実な積み増しによりまして、平成29年度末における残高の見込みが約30億4,800万円と、第3次匝瑳市行政改革大綱及び匝瑳市財政健全化計画に掲げた「財政調整基金残高30億円台の確保」を達成する見込みであります。

しかし、人口減少により市税収入の伸びが見込めないことと併せて、地方交付税につきましても平成28年度から合併算定替の縮減が開始され、年々、その縮減率が拡大することから、これまで以上に財源の確保が必要な状況になっております。

歳入が減少する一方で、健康・福祉・医療・介護の各分野の充実に向けた社会保障経費や、快適で安全なまちづくりのための都市基盤整備促進に向けた経費等の増加が見込まれ、財政状況は一層厳しくなることが予想されます。

今後の財政運営に当たりましては、将来の財政見通しを勘案しながら、緊急性、必要性を十分見極めた上で予算付けをしていかなければならないと考えております。

また、国、県の動向を常に注視するとともに、行財政の効果的な運営に努め、新たな課題に対応し、持続可能な行財政運営を進めていくことが求められているところであります。

こうした状況を踏まえ、平成30年度当初予算は、

- 1 骨格予算の編成
- 2 総合計画の着実な推進
- 3 地方創生への積極的な取組
- 4 財政健全化に向けた財政基盤の確立

の4つの基本方針に基づいて編成いたしました。

その結果、平成30年度匝瑳市一般会計当初予算案の総額は、平成29年度当初予算と比較して、2億5,100万円（1.7%）減の142億1,90

0万円、また、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計を合わせた匝瑳市の予算総額は、前年度比20億6,262万8,000円(7.4%)減の256億7,606万7,000円としたところであります。

なお、一般会計当初予算案は、政策的経費の一部を除く骨格予算としておりますが、市民生活に影響する事業については、当初予算として計上したところであります。

また、マニフェストの推進に係る経費等につきましては、6月補正予算において肉付けを行い、「市民とともに創る 協働のまち 匝瑳」のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

■ 3 マニフェストの概要 ～5つの重点施策～

次に、「市民とともに創る 協働のまち 匝瑳」の実現へ向けた、今後4年間の私のマニフェストの概要について申し上げます。

市政運営3期目の具体的な施策といたしましては、市民の幸福と市政の更なる発展を願い、冒頭申し上げた3つの基本方針を掲げ、重点施策といたしまして、5つの項目を盛り込んだところであります。

▶ 重点施策1 健康・福祉・医療・介護の充実 ～生きがいに満ち、笑顔があふれるまちづくり～

はじめに、重点施策1に掲げる「健康・福祉・医療・介護の充実」についてであります。

この項目では、健康・福祉・医療・介護の各分野が連携して、市民一人ひとりを地域で支える環境づくりに努め、子育て支援の強化を図るとともに、健康の喜びと生きがいを感じながら、安心して暮らすことのできるまちづくりを推進します。

本市の高齢化率は30%を超え、3人に1人は高齢者となっております。今後とも高齢化が進み、医療や介護が必要となる方の増加が懸念されることから、健康寿命を延ばす取組がますます重要となります。

このような中で、市民が健康で安心して暮らしていくためには、地域におけ

る医療体制の確立は欠かすことができません。本市の医療体制の中心を担っており、市民病院の経営健全化を推進した上で、新病院を整備することを喫緊の課題として取り組んでまいります。

具体的な推進施策といたしましては、

- 1 子ども医療費無料化を高校生までに拡大
- 2 保育環境と子育て支援の強化・充実
- 3 高齢者の自立生活支援のための地域包括ケアシステム等の充実
- 4 高齢者のための地域交通利用料助成制度の充実
- 5 市民病院の経営健全化を推進した上での新病院の整備

の5つの施策を中心として、全ての市民が生きがいと満ち、笑顔があふれるまちづくりを進めてまいります。

▶ 重点施策2 地域経済の活性化 ～活気に満ち、はつらつとしたまちづくり～

第2に、重点施策2「地域経済の活性化」についてであります。

この項目では、各種産業の生産・経営基盤が強化されるよう支援を行うとともに、農林水産業と商工業、観光業の連携を促進して、地域間競争に勝ち抜く個性ある地域産業の育成・発展を支援します。

また、雇用と消費の場を創出し、「地産地消」による地域経済の好循環を生み出すことによって、市民がいきいきと労働や生産活動等に参加できるまちづくりを進めます。

具体的な推進施策といたしましては、

- 1 地元産品や植木等の販路拡大支援とトップセールスによるPR
- 2 雇用の場の確保と空き店舗や企業誘致条例等を活用した起業者支援
- 3 “散歩のまちづくり”の充実とまつり、文化財等を活用した観光振興
- 4 生産から加工、流通までを行う6次産業化支援の推進
- 5 若者の農業就業支援制度の充実
- 6 漁業資源の増殖等の推進

の6つの施策を中心として、活気に満ち、はつらつとしたまちづくりを進めてまいります。

▶ **重点施策3 都市基盤整備の促進** ～自然と共生し、快適で安全なまちづくり～

第3に、重点施策3「都市基盤整備の促進」についてであります。

この項目では、快適で利便性の高い生活環境づくりを目指し、貴重な自然を保護するための対策や防災体制の充実を図るとともに、幹線道路等の整備を推進し、計画的な都市基盤整備を進めます。

また、資源循環型社会の形成に向け、ごみの減量化を推進し、環境への負荷を抑制する処理体制の強化を図るとともに、広域ごみ処理施設整備事業の推進を喫緊の課題として取り組んでまいります。

具体的な推進施策といたしましては、

- 1 飯倉駅周辺を中心とした「生涯活躍のまちづくり」の推進
- 2 広域ごみ処理施設整備事業の推進
- 3 市道のネットワーク化の推進
- 4 匝瑳消防署の建替整備の促進
- 5 九十九里海岸の自然保護と環境保全

の5つの施策を中心として、自然と共生し、快適で安全なまちづくりを進めてまいります。

▶ **重点施策4 生涯活躍できる人づくりと交流活動の促進** ～個性豊かに学び、人々が輝くまちづくり～

第4に、重点施策4「生涯活躍できる人づくりと交流活動の促進」についてであります。

この項目では、市民一人ひとりがお互いを尊重し、理解し合ってそれぞれの能力と意欲が十分発揮できる環境づくりを進めます。

また、次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、地域の歴史や伝統文化を伝えることにより、ふるさとを誇りに想う「愛郷心」を育む教育環境づくりに努めるとともに、スポーツ施設の充実と利用促進に努め、生涯スポーツ意識の醸成を図ります。

さらに、人口減少を抑制するため、移住・定住を促進してまいります。

具体的な推進施策といたしましては、

- 1 小・中学校トイレの洋式化の推進
- 2 パークゴルフ場等のスポーツ施設整備の推進
- 3 生涯いきいきと活躍できる人材の育成
- 4 空き家バンク、転入者奨励金、婚活等の充実と移住・定住の促進

の4つの施策を中心として、個性豊かに学び、人々が輝くまちづくりを進めてまいります。

▶ **重点施策5 市民参加による市政の推進 ～市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくり～**

第5に、重点施策5「市民参加による市政の推進」についてであります。

この項目では、市民と行政がまちづくりに関する課題とそれを解決する方向性を共有しながら、一体となって知恵を出しあい行動に移す体制づくりを推進します。

また、これまでまちづくりに参加することが少なかった、高校生等の若者が実施する市民協働事業を推進します。

さらに、ボランティア活動や地域で活動する団体を支援して、市民一人ひとりが地域活動に積極的に参加できるまちづくりを進めます。

具体的な推進施策といたしましては、

- 1 市民がまちづくりに参画する市民提案型事業の推進
- 2 高校生等の若者が参画する市民協働事業の推進
- 3 地域コミュニティ育成のための支援制度の充実
- 4 地域の人材が活躍できるボランティア制度の充実
- 5 市政運営の一層の健全化

の5つの施策を中心として、市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくりを進めてまいります。

■ **4 むすびに**

.....
以上、3期目の市政運営に臨む基本的な考え方をお示しし、マニフェストの概要とともに、私の所信を申し上げます。

今後の市政推進に当たりましては、2期8年間の実績と経験を糧として、た

だいま申し上げました25項目のマニフェストを1つずつ確実に実行したいと考えております。

また、平成20年度に策定した「第1次匝瑳市総合計画」は、12年の計画として最後の2年に差し掛かっており、第1次総合計画の総決算と次世代へつなぐ次期計画の策定という重要な任務を控えております。

まちづくりの主役である市民の皆様との対話を大事にし、常に市民目線の市政運営を心掛け、「今日より明日を必ず良くする」という強い決意で、市政発展のため、全身全霊で取り組んでまいる覚悟であります。

議員各位並びに市民の皆様のご理解と御協力、御支援を心からお願い申し上げます。